

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員は、子どもがいきいきと自信をもって学べる学校づくりを推進します。</li> <li>・異学年ペア活動を通して子どもが自分のよさや友達のよさを認め合い、高め合えるように寄り添った指導をします。</li> <li>・地域の教育力を活用し、子どもに豊かな教育活動が提供できるようにします。</li> <li>・地域のあいさつ運動と連携して、自ら進んであいさつができる子どもを育てます。</li> <li>・児童指導の課題、いじめ防止について教職員で共有し、チームで対応する体制づくりを整えます。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の教科道德の授業において、児童が主体的に考え、道徳的価値をとらえられる、工夫して授業を進めます。</li> <li>・ペア活動を通して、異学年の交流を深め、互いを尊重する気持ちを育てます。</li> <li>・地域のあいさつ運動と連携して、人間関係づくりの基本としてあいさつがしっかりとできるように指導します。</li> </ul>
担当	児童指導部会

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

昨年度まで、特別の教科道德の授業を計画的に進め、道徳的価値を意識した授業を行うことができた。実践する姿も見られるようになってきたが、まだ十分とは言えない。ペア活動で上学年はリーダー性を高めることができるが、下学年の感謝の気持ちを育てたい。あいさつは、よくできるので、今後も常態化できるようにしたい。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・道徳科を全教育活動の要として、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ・道徳科を児童一人ひとりが、一定の道徳的価値の含まれるねらいとのかかわりにおいて自己を見つめ、道徳的価値を発達段階に即して内面的に自覚し、主体的実践力を身につけていく時間とする。
- ・自己の生き方、人間としての生き方に繋がっていく発展的な思いや課題を見出していくことができるために、学年の段階に応じて、道徳ノートや振り返りカード（シート）などを活用し、振り返りの工夫を積極的に行う。

### 【項目自分づくり教育】

- ・身の回りの仕事や社会を支えている方々に関心を持ち、学校、学級内での児童自らの役割を認識し、それを実践しようとする態度を育てます。
- ・自分のよさや友達のよさを認め合い、お互いによいところを伸ばし合えるように異学年ペア活動を充実させます。